

## 信頼と安心の福祉サービスの提供に向けて 「福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会を開催します」

平成16年度後半に本県における福祉サービス第三者評価事業の実施体制が整って以降、この4月までに、延べ1100件を超える事業者が第三者評価を受審しています。

第三者評価は、客観的な評価を通じて、サービスの質の向上への取り組みがより効果的・効率的に進められるよう、事業者を支援するための取り組みです。第三者評価を受審した事業者では、評価結果を生かしたさまざまな取り組みが行われており、本紙表紙でご紹介した石上保育園（藤沢市）もその一つです。



マスコットキャラクター「ふくしみるちゃん」をあしらった受審済証（ステッカー）を配布しています

「少ない園児数、複数担任制の利点を生かした保育」などで高い評価を受けた同園では、「保護者会の開催」や「日々の様子をインターネット上で見られる仕組みづくり」など、利

用者調査で保護者から意見の挙がった事項を具体的な実践につなぎ、利用者満足度を高めています。

本会では、こうした第三者評価を受審された事業者の取り組みや、評価機関を紹介する機会として、「福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会」を開催しています。

福祉サービスの質の向上に向けた方策を検討している経営者の皆さん、客観的な視点で事業者の取り組みを見てほしいとお考えの管理者の皆さん、ぜひこの機会をご活用ください。

☎ 045-290-7432  
FAX 045-313-0737

（社会福祉施設・団体担当）

### 「福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会」のご案内

〈開催日時〉

高齢・障害分野

6月19日(木)午後2時～4時30分

保育分野

8月1日(金)午前10時～12時30分

〈会場〉県社会福祉会館2階 講堂

※事前申込制

※詳細は、本会ホームページ (<http://www.knsyk.jp/>) に掲載

## 分かち合い、支え合うセルフヘルプ活動

セルフヘルプ活動とは、依存症・障害・難病・遺族・アダルトチルドレン・性同一性障害等、生きづらさや共通の体験を持つ人たちが、気持ちの分かち合い、同じ立場からの相談活動、社会への問題提起等を主体的に行う活動です。【関連記事7面】

本会では、セルフヘルプ活動を支援するために、セルフヘルプ・グループや活動に関する相談、セミナーの開催やホームページ等による情報の発信を行うとともに、かながわ県民センターにて、グループが行う相談や分かち合いのための活動拠点を提供しています。また、そこで活動する45のグループを対象に、年2回の懇談会を開催しています。

「同じ悩みを持つ者同士」というグループの特性から、グループの枠を超えた接点は少ないですが、グループ運営についての課題などは活動分野を超えて共通する点も多く、活発に意見交換がなされ、そこから緩やかなつながりができる様子が見られます。また、一人でグループを運営している方から「ここで他のグループの方々と話すと、また頑張ろうと思える」との感想が聞かれ、仲間とし



セルフヘルプ・グループ「横浜断酒新生会」が行う、酒害相談の一場面

かながわボランティアセンター「セルフヘルプ相談室」を利用するグループや活動内容については、本会ホームページ (<http://www.knsyk.jp/>) で公開中です

て出会う場の大切さがうかがえます。個人の悩みが複雑・多様化し続け、社会的孤立が課題となっている今、セルフヘルプ・グループの持つ当事者性は、悩みゆえに地域で孤立しがちな人と社会をつなぐ鍵になる可能性があります。

本会では、生きづらさがあっても、その人らしく暮らせる地域づくりを進める一つの要素としてセルフヘルプ活動を支援し、伝え、つないでいく試みを広げます。

☎ 045-312-4815  
FAX 045-312-6307

（地域福祉推進担当）